

ISEWAN REPORT

第102期 報告書

2024年4月1日から2025年3月31日



TOP MESSAGE

トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、個人消費や設備投資に持ち直しの動きも見られ、景気は緩やかに回復しました。しかし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞に伴う影響など海外景気の下振れや、物価上昇の継続に伴う消費者マインドの低迷が、わが国の景気を下押しするリスクとなっており、依然として不透明な状況が続きました。

第103期の当社グループを取り巻く国際物流業界におきましては、人口減少による労働力不足や、依然として続く地政学的リスクの高まりなど予断を許さない状況が続くと見込まれます。このような状況下にありますが、当社が昨年策定した中期経営計画の2年目として、3つの物流イノベーション施策であるDX・ロボティクス、サステナビリティ、グローバルをより一層推進してまいります。その中でも特に企業にとって最も大事なものは「人」と考え、当社の持続的な成長のため基幹人事制度の見直しに取り組んでまいります。また、より顧客ニーズに合わせたサービスを展開するための設備投資や拠点拡充を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、従来に増してご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 高見 昌伸



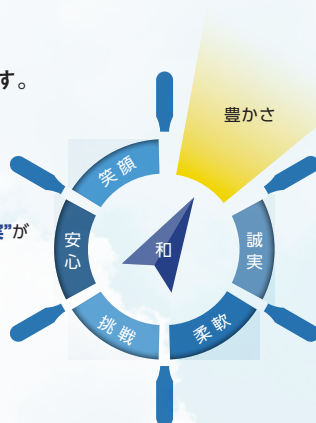
経営理念

MISSION ミッション 私たちの使命

和を追求し、笑顔ある豊かな社会の実現に貢献します。

和から始まる広がり

心が和むと笑顔を生む。心の和みが安心を生む。
その安心できる環境が挑戦を生む。調和が柔軟さを生む。
お互いを大切に、協力し合う関係の和が誠実さを生む。
和によって生まれる、“笑顔”、“安心”、“挑戦”、“柔軟”、“誠実”が
人の心や社会発展の豊かさに繋がっていくと確信します。



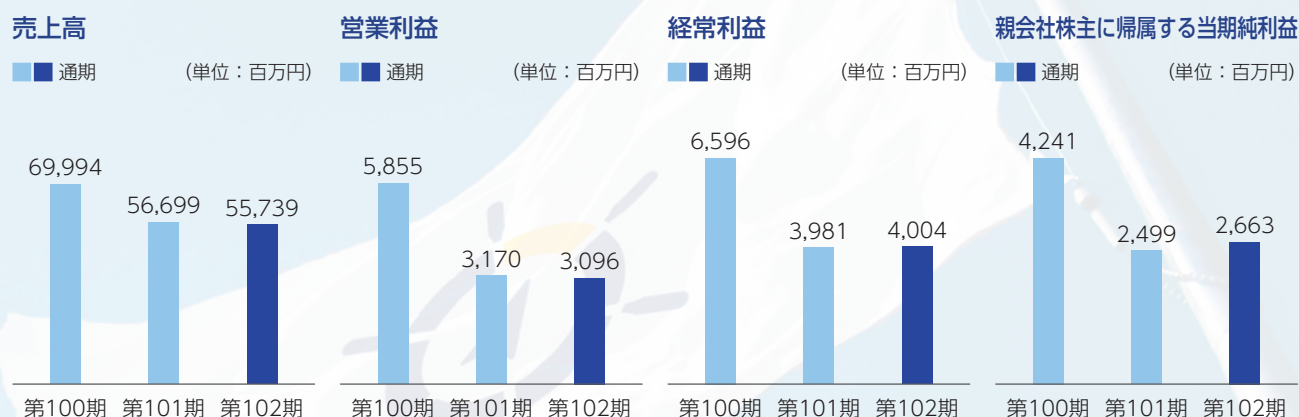
VISION ビジョン 私たちの目指す姿

多様な個性や価値観を尊重し、
みんなが力を存分に発揮できる
明るく活力のある企業風土を確立します。
そこから生まれる誇りあるサービスを提供し、すべての人に安心と信頼を届け、
社会とともに希望ある未来を目指します。

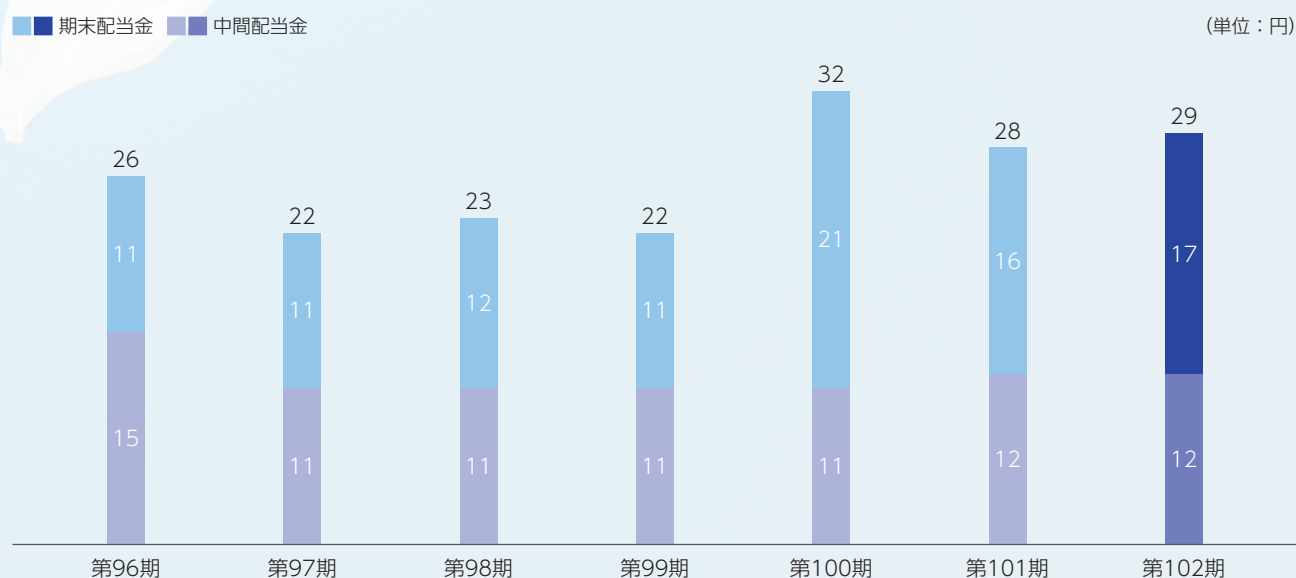
VALUE バリュー 私たちの大切にしている価値観

- 笑顔溢れる活気のある企業へ
- 安心でき、やりがいを感じることができる企業へ
- 本質を見極めた挑戦
- 挑戦を応援できる環境
- 互いの意見を尊重し、受け入れる柔軟な職場へ
- 社会の移り変わりへの柔軟な対応
- 誠実な対応
- 誠実で誇りある仕事

業績ハイライト



配当金の推移



配当方針

当社の株主の皆様に対する配当は、長期にわたり安定的な経営基盤の確保に努めるとともに安定的な配当を継続していくことを基本方針としております。この基本方針に基づき、業績に左右されない株主還元の維持を目指して直近5年間と今後予想2年間を加えた7年間の平均配当性向とし、その指数については30%を目安として、総合的に勘案して決定することとしております。また、内部留保につきましては、将来にわたる株主利益を確保するため企業体質の一層の充実等に充当していきたいと考えておりますが、株主の皆様への利益還元も重要な課題の一つと認識し、業績の推移及び事業展開を総合的に勘案し実施してまいります。

当事業年度の配当につきましては、上記方針に基づき、普通配当12円に特別配当5円を加え1株当たり29円（うち中間配当12円）の配当を実施いたしました。

MEDIUM-TERM MANAGEMENT PLAN

中期経営計画

進捗報告

当中期経営計画は、当社が目指す2030年ビジョンの実現に向けて、2024年度から2026年度までの3カ年、「Challenge～つなぐ物流で未来へ」をスローガンとして掲げ、社会とともに持続的な成長と企業価値向上への挑戦を計画化したものです。始動より1カ年が経過したため、その進捗をご報告いたします。



中期経営計画（2024～2026）～全体像

スローガン

「Challenge～つなぐ物流で未来へ」



2030年ビジョン

「和を重んじた つなぐ物流 で、地域・港湾の発展に寄与する」

物流イノベーション

- 国内物流施設の再編で持続的成長が可能な安定経営を実現
- 顧客ニーズに合致した倉庫・設備の選定、高度化
 - 「人と設備の協働」・「IT活用」・「多様性の推進」により、互いに助け合う現場
- 荷役を越えた流通加工への挑戦で、新たな付加価値を提供（組立・設置業務）



1

DX・ロボティクス



- 業界をリードする、DXへの積極対応企業へ
- 社内のIT化の推進と情報リテラシーの強化
- 効率化、安全強化、難作業を実現するための現場設備・機器の導入

2

サステナビリティ

Environment（環境）

- カーボンニュートラル、CO₂排出量削減
- サーキュラーエコノミー・環境負荷削減に関わる事業に取り組む

Social（社会）

- 人材の確保・活用、CDP・計画的な育成
- 働きやすい環境づくり、Well-Beingの向上
- 人事制度・評価システムの見直し

Governance（企業統治）

- ガバナンス体制の強化
- リスク管理体制の整備
- 情報セキュリティ対策の推進

3

グローバル



国内外をつなぐ顧客サービスの拡充

- 顧客の海外展開に即した営業組織体制の拡充、各拠点間の連携強化
- 的確な提案力を備えた人材の計画的な育成と適正な配置
- 多様な人材が働ける環境、活躍できる仕組みの整備



中期経営計画（2024～2026）進捗報告

物流イノベーション施策

1

DX・ロボティクス

- ・ 情報セキュリティポリシーの刷新
- ・ デジタイゼーション、デジタライゼーション推進によるDX基礎固め
- ・ 一部荷役機器の自動化による作業効率化、省力化

2

サステナビリティ

- ・ 人的資本経営を目指した基幹人事制度の刷新プロジェクト
 - ①職群の見直し ②職制の見直し
 - ③人事評価制度見直し ④賃金制度見直し
- ・ 人事部新設による人事機能強化
- ・ グローバル展開リスク対応における海外拠点内部監査の推進

3

グローバル

- ・ 中国四川省に成都支店の開設
- ・ 内陸部に初進出、物流ネットワークの拡大
- ・ グローバル人材育成のために研修制度拡充

数値目標の進捗



Pick up

ホームページリニューアル

2024年10月1日より、当社ホームページをリニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、IR情報ページをはじめとしてデザインやページ構成を見直し、リクルートサイト等の新コンテンツの追加も実施しました。今後も多くの皆様にご利用いただけるよう更なる改善を図り、有益な情報提供もしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



社長現場視察

2023年11月より2025年3月までの1年5ヵ月をかけて、当社高見社長が国内15拠点（支店、倉庫、コンテナターミナル等）を視察し、各拠点の従業員とのランチミーティングを実施しました。

社長からは会社の近況や今後の方向性、社長の経験談についての話がある一方、従業員からも日頃業務で感じていることなど忌憚なく意見が出され、一例では安全具や雨具への提案が採用されました。また有志でマラソン大会に出場するという社員の報告を受け、協賛が決まる場面がある等、顔を合わせてコミュニケーションを図る機会となりました。



会社情報

会社名	伊勢湾海運株式会社 (ISEWAN TERMINAL SERVICE CO., LTD.)
本社所在地	愛知県名古屋港区入船一丁目7番40号
設立	1949年1月22日
資本金	2,046百万円
事業内容	港湾運送、倉庫、貨物利用運送、海上運送、陸上運送、通関、航空運送代理店、梱包、一般廃棄物及び産業廃棄物の運送並びに再生処理、鉄鋼・非鉄金属及びこれらの原材料並びに製品・鉱産物の購入及び運搬並びに販売、土木・建築工事、労働者派遣、各種代理業

役員の状況

代表取締役社長 社長執行役員	高 見 昌 伸
代表取締役 副社長執行役員	高 橋 昭 彦
代表取締役 副社長執行役員	森 光 男
取締役 取締役	菅 野 孝 一
取締役 取締役	間 瀬 宏
取締役 取締役	江 島 まゆみ
常勤監査役	上 嶋 守
監査役	水 野 聡
監査役	中 村 誠 一
監査役	牧 野 内 さつき

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	27,487,054株
株主数	3,516名

ホームページのご案内



コーポレートサイトトップ
<https://www.isewan.co.jp/>

企業情報
IR情報
株式関連情報



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	名古屋証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.isewan.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、中日新聞に公告いたします。)